



男声合唱組曲

「雪明りの路」

春を待つ
梅ちゃん
月夜を歩く
白い障子
夜まわり
雪 夜

作詩 伊藤 整
作曲 多田 武彦
指揮 林 宏之

MESSAGE

藍色と淡緑色と

第7回交歓演奏会おめでとうございます。

私事ながら私が男声合唱をはじめて知ったのが、昭和22年でしたから、今年で頂度30年になります。こうした自分を折にふれ振り返るたびに必ず頭に浮ぶのが、当時の合唱祭やコンクールがおこなわれた朝日会館のステージでの詰襟の学生服が奏でるすばらしい男声合唱でした。その学生服の列が同志社グリーンクラブの場合は、底知れぬ深い藍色の音色が流れ、それが関西学院グリーンクラブの場合は、明るい淡緑色の響きが伝わって来ました。この二つの色は、30年経った今も私の頭から離れようともせず、今でも音楽会で両グリーンクラブのエールが奏でられると、何かほっとした気持で、私はこの二つの色の中に自分の身体を浸しつづけています。

こうしてこのメッセージを書いても、今まで両グリーンクラブによって歌いつづけられて来た色々な曲が頭の中で鳴りつづけ、耳のうしろから背中にかけてぞくぞくが止まりません。

こうした意味で両グリーンクラブの音楽は、私の青春から中年にかけての心のふるさとであり、あのふ厚いハーモニーは折にふれて疲れきった私の心をなくさめつづけてくれました。このことは、私のみならず、この音楽を求めつづけて来た多くの人達に共通していえることではないかと思えます。

今後ますます発展され、是非この永年のすばらしい所業を合唱愛好家たちに与えつづけて行って下さい。

演奏会のご成功を心からおいのりします。

作曲家

多田 武彦